INDIGO

JP

INDIGO Series

Mono Block Power Amplifier

Owner's Manual

QUALIA & COMPANY

はじめに

この度は、QUALIA INDIGO Series Mono Block Power Amplifier をお買上いただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み頂き本製品を末永くご使用下さい。

ご不明の点がございましたら、ご購入の販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

●保証登録カードと製品保証について

製品に同梱されている「保証登録カード」に必要事項をご記入の上、弊社までご返送下さい。

１．取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入日より3年間の無償修理を致します。
この際、販売店等へご返送される際にかかるコストについてはお客様にご負担をお願いいたします。保証の用件を満たす場合、修理完了品のお客様への返送にかかる送料は弊社が負担させていただきます。

２．保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
■使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷。
■お買い上げの後の輸送、移動、落下等による故障や損傷。
■火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障や損傷。
■一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障や損傷。
■保証登録をされていない場合。

●製品のカートン＆パッキングについて

製品のカートン＆パッキングは、可能な限り保存して下さい。
調整やメンテナンスなどの際に製品を輸送する場合は、必ずオリジナルのカートンを使用して、販売店または弊社にお送り下さい。
オリジナルカートン＆パッキング以外での輸送中のトラブル等は、弊社では責任を負いかねます。

●梱包の内容について

はじめに以下のものが揃っているか、ご確認下さい。

- ■ INDIGO MONO BLOCK POWER AMPLIFIER × 1 pair
- ■ Power Cord × 2
- ■ 本取扱説明書× 1
- ■ 保証登録カード× 1

CONTENTS

1. Introduction 1

2. Safety Precautions 2

3. Front Panel, Rear Panel 3

4. Positioning and location of the units 1 . . 4

Positioning and location of the units 2 . . 5

5. Connections

**RCA Input Jacks 6*

**Balanced XLR Input Jacks 7*

**Loudspeaker Output Binding Post 8*

**Connection of ACPower Cord 9*

6. Basic Operation

**Turn on the power and Playback 10*

**Turning off the power 11*

7. How To Replace fuse 12

8. Care and Maintenance, Specifications 13

「安全上のご注意」

オーディオ機器の正しい使いかた

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」を良く
お読みの上、正しくお使い下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。

●絵表示について

この「安全上のご注意」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

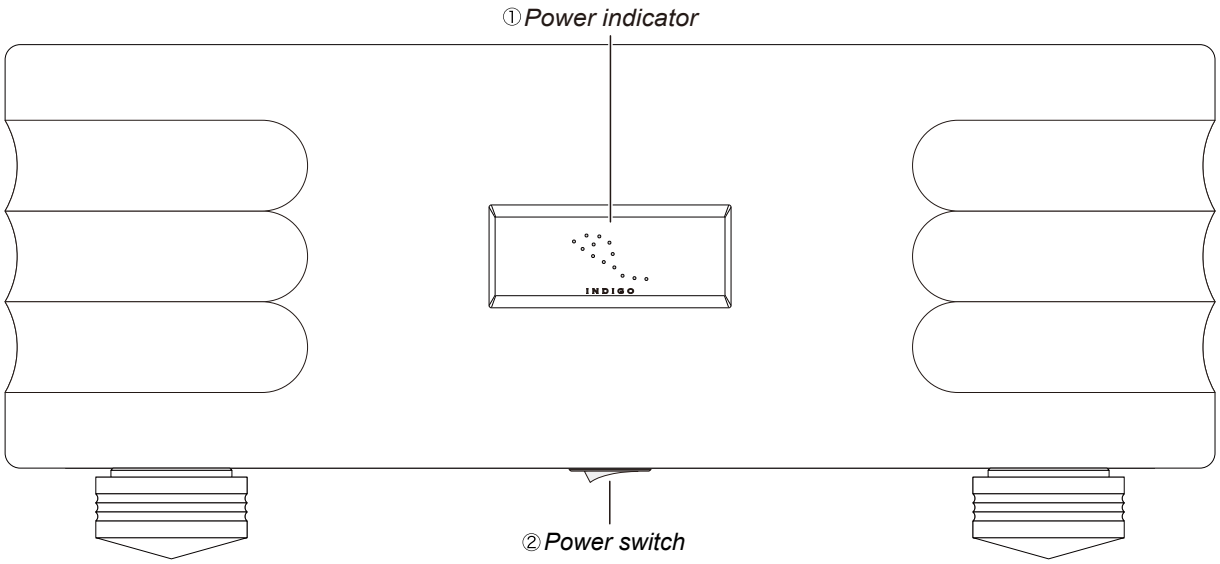
⚠ **WARNING**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **CAUTION**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	△記号は注意・警告を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や 近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為の強制をしたり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

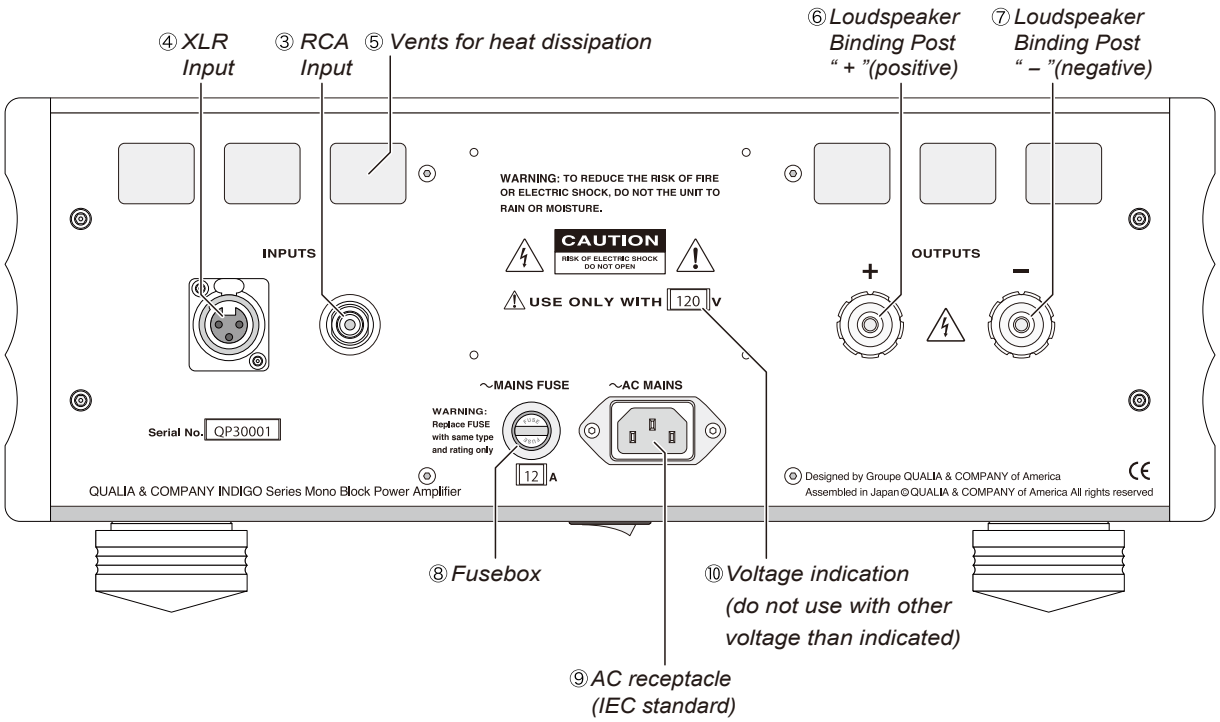
1 本体各部の名称

INDIGO Mono Block Power Amplifier Main Unit

(1) Front Panel



(2) Rear Panel


④XLR Input
③RCA Input
⑤Vents for heat dissipation
⑥Loudspeaker Binding Post " + "(positive)
⑦Loudspeaker Binding Post " – "(negative)
WARNING: TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT THE UNIT TO RAIN OR MOISTURE.
CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN
INPUTS
OUTPUTS
+
–
USE ONLY WITH 120 V
~MAINS FUSE
~AC MAINS
WARNING: Replace FUSE with same type and rating only
12 A
Serial No. QP30001
QUALIA & COMPANY INDIGO Series Mono Block Power Amplifier
Designed by Groupe QUALIA & COMPANY of America
Assembled in Japan © QUALIA & COMPANY of America All rights reserved
⑧Fusebox
⑩Voltage indication (do not use with other voltage than indicated)
⑨AC receptacle (IEC standard)

INPUT　XLR connectors (PIN 2 HOT +)

●設置に関して

⚠ WARNING

換気や放熱が十分行われる場所に設置して下さい。

とくに、直射日光が当たる場所やストーブのすぐそばなど異常に温度が高くなる場所、湿気やホコリの多い場所に設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因となります。

また最悪の場合、火災の原因となる場合がありますので、このような場所への設置は避けて下さい

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないで下さい。

不安定な場所に設置すると、製品の性能が十分に発揮されません。

必ずしっかりとした台、もしくはオーディオ専用のラック・プラットフォームベースなどに設置してください。

また、特にお子様にはご注意下さい。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

十分に間隔を置いて下さい。

発熱量の多いパワーアンプを設置するには、出来る限り空気の流れの良いオープンタイプのラックもしくは、パワーアンプ専用のプラットフォーム（アイソレーションベース）が最適です。

ラックの中に設置する場合は、本体の天面から 10cm 以上、背面から 15cm 以上のすきまを開けて下さい。内部に熱がこもり故障の原因となります。最悪の場合、火災の原因となることがあります。

本機の上に物を置かないで下さい。

花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

本機の通風孔を塞がないでください。

天板の通風孔を布切れなどで絶対に塞がないでください。

本体内部に熱がこもり故障の原因となります。最悪の場合、火災の原因となることがあります。

異物を入れないで下さい。

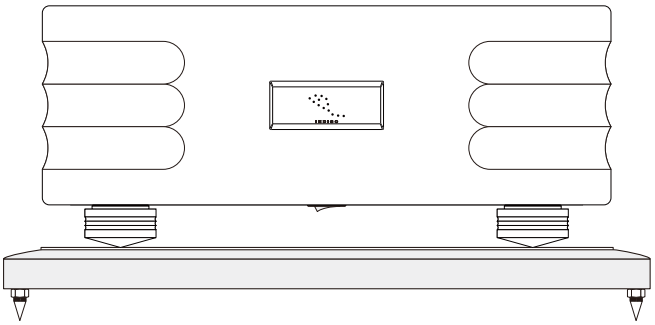
本体の通風孔から内部に金属類や燃えやすい物など、いかなる物も差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

特に小さなお子様には十分気を付けて、可能な限りお子様の手の届かない場所に設置するようにして下さい。

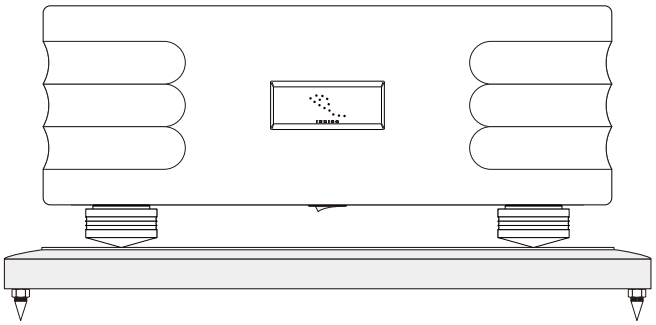
(1) 弊社推奨の設置

INDIGO MONO BLOCK POWER AMPLIFIER 本体は可能な限り、しっかりとしたオーディオ用プラットフォームやアイソレーションベースに設置して下さい。

Lch Main Unit



Rch Main Unit

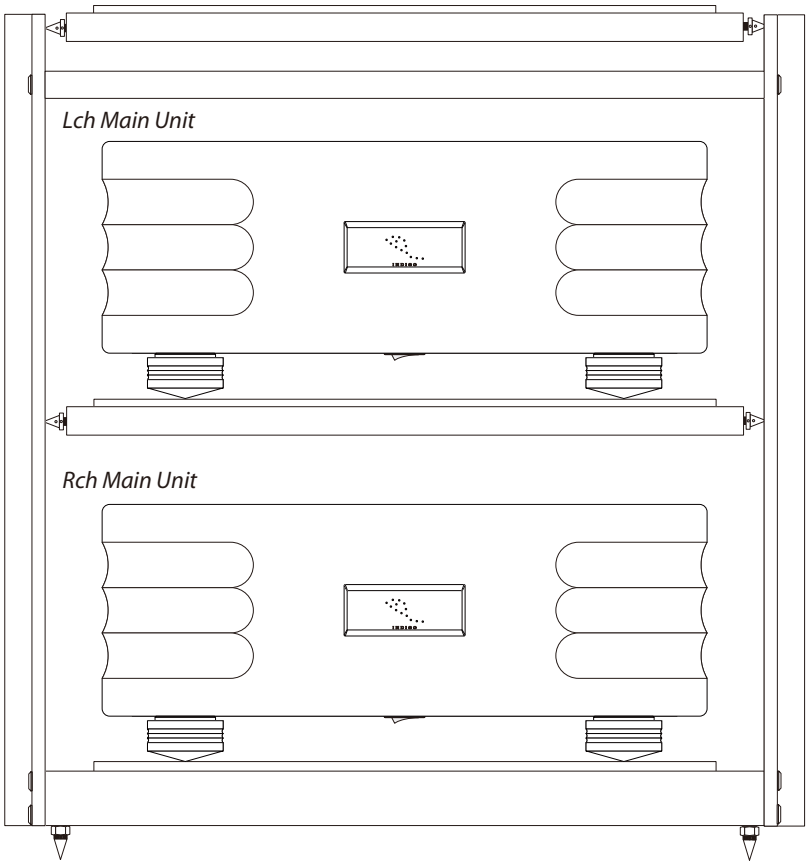


(2) ラックの中に設置する場合

INDIGO MONO BLOCK POWER AMPLIFIER 本体は、しっかりとした側板・背面板のないオープンタイプのラックに設置して下さい。

止む終えず側板や背面板のあるラックをご使用になる場合は、上面 10cm、背面 15cm 以上間隔を確保して下さい。

また、背面板の通風孔が小さい場合は大きく開けたり、ガラス扉付のラックの場合は扉を外すよう（放熱の問題だけでなく音質上も好ましくない理由から）対策して下さい。



●接続方法（入力）

●ケーブルを接続する際には、電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
電源を入れたまま行いますと、本体および接続する機器を破損するばかりか、感電の原因となることがあります。

●機器を接続する前に、各々の機器の取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。接続ケーブルは良質のものを使用して下さい。

● RCA インターコネクトケーブルの着脱は、プラグを回さずに真っ直ぐに行って下さい。
プラグを回しながら着脱を行いますと、本体側の端子が一緒に回って断線することがありますので、必ず真っ直ぐ着脱を行って下さい。

RCA アンバランス接続

プリアンプの出力ケーブルを接続します。

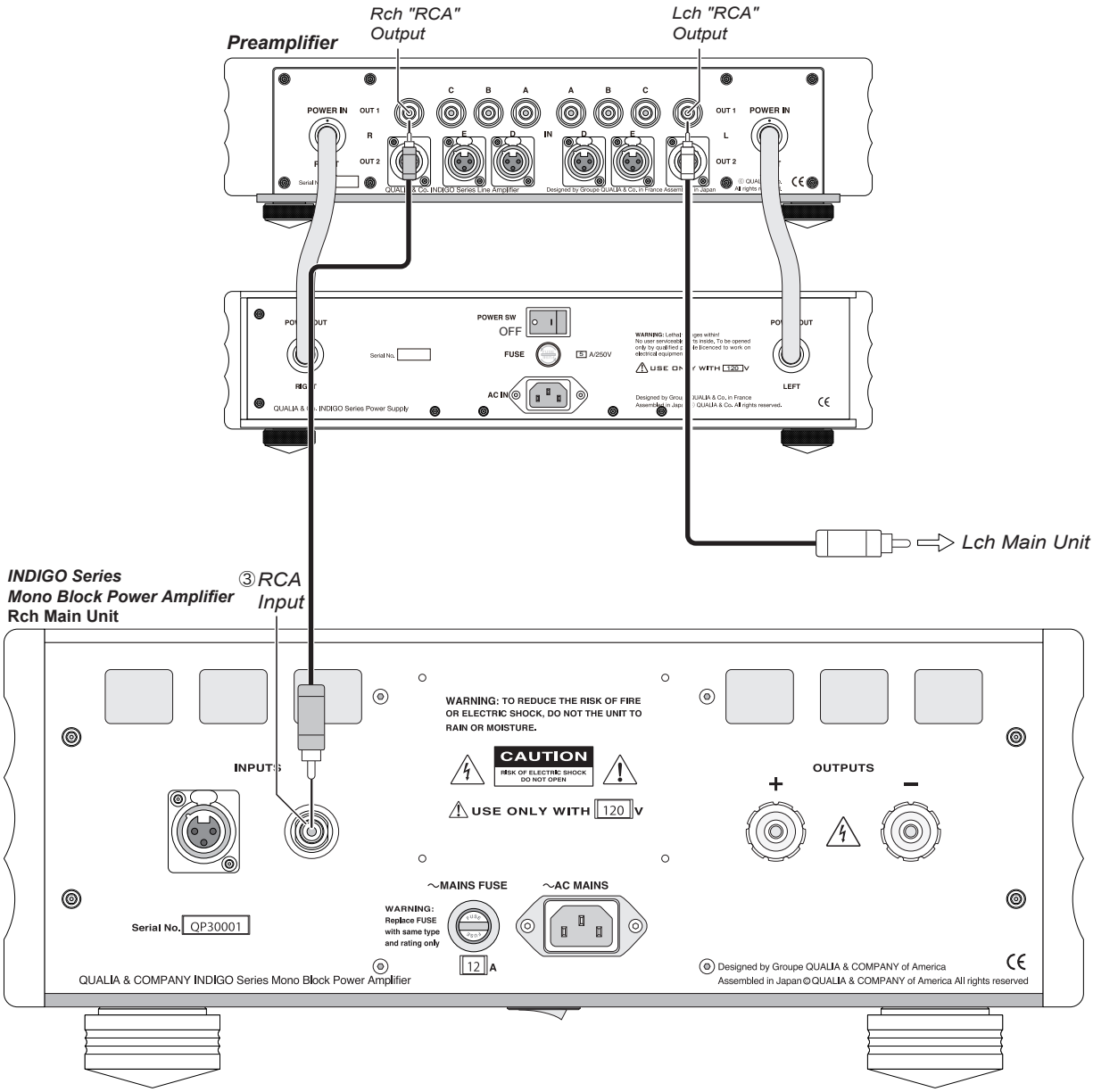
※接続を行う前に、オーディオ機器の端子およびケーブルのプラグのクリーニングを行って下さい。

アンバランス入力端子

③ RCA ジャックのアンバランス入力端子で、1 系統を装備しています。

プリアンプのアンバランス出力 端子と RCA インターコネクトケーブルで接続します。

※同時に XLR 端子にバランスケーブルを繋がないでください。



※本機はバランスアンプではありませんので、バランスケーブルを接続する際には、必ず接続機器の極性と
本機の極性を合わせて下さい。ケーブルの加工が必要な場合は、販売店またはケーブルメーカーにご相談下さい。
極性が合っていない場合、音が出ないばかりか、本体および接続する機器を破損する原因となります。

XLR アンバランス端子接続

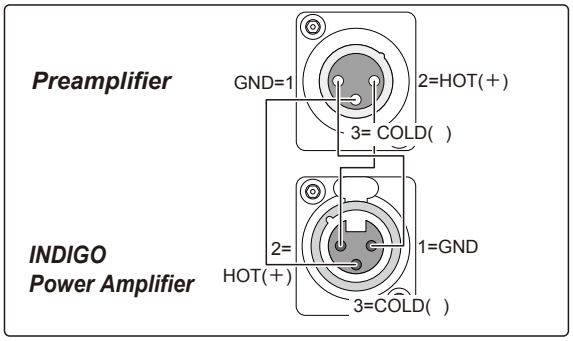
XLR バランス入力端子

これは XLR バランス入力端子です。プリアンプの XLR バランス出力端子からのバランスケーブルを接続します。

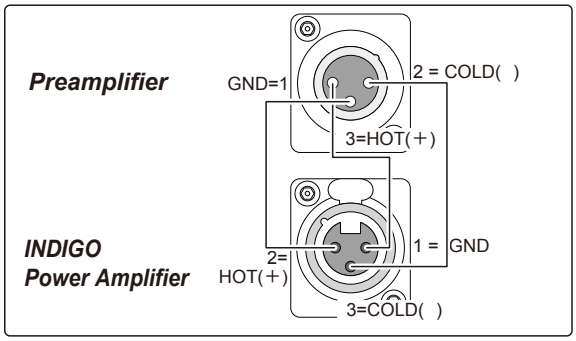
※ XLR バランス入力端子の極性は、1 番 = グラウンド , 2 番 =HOT(＋), 3 番 =COLD(－) です。

※同時に RCA 端子にバランスケーブルを繋がないでください。

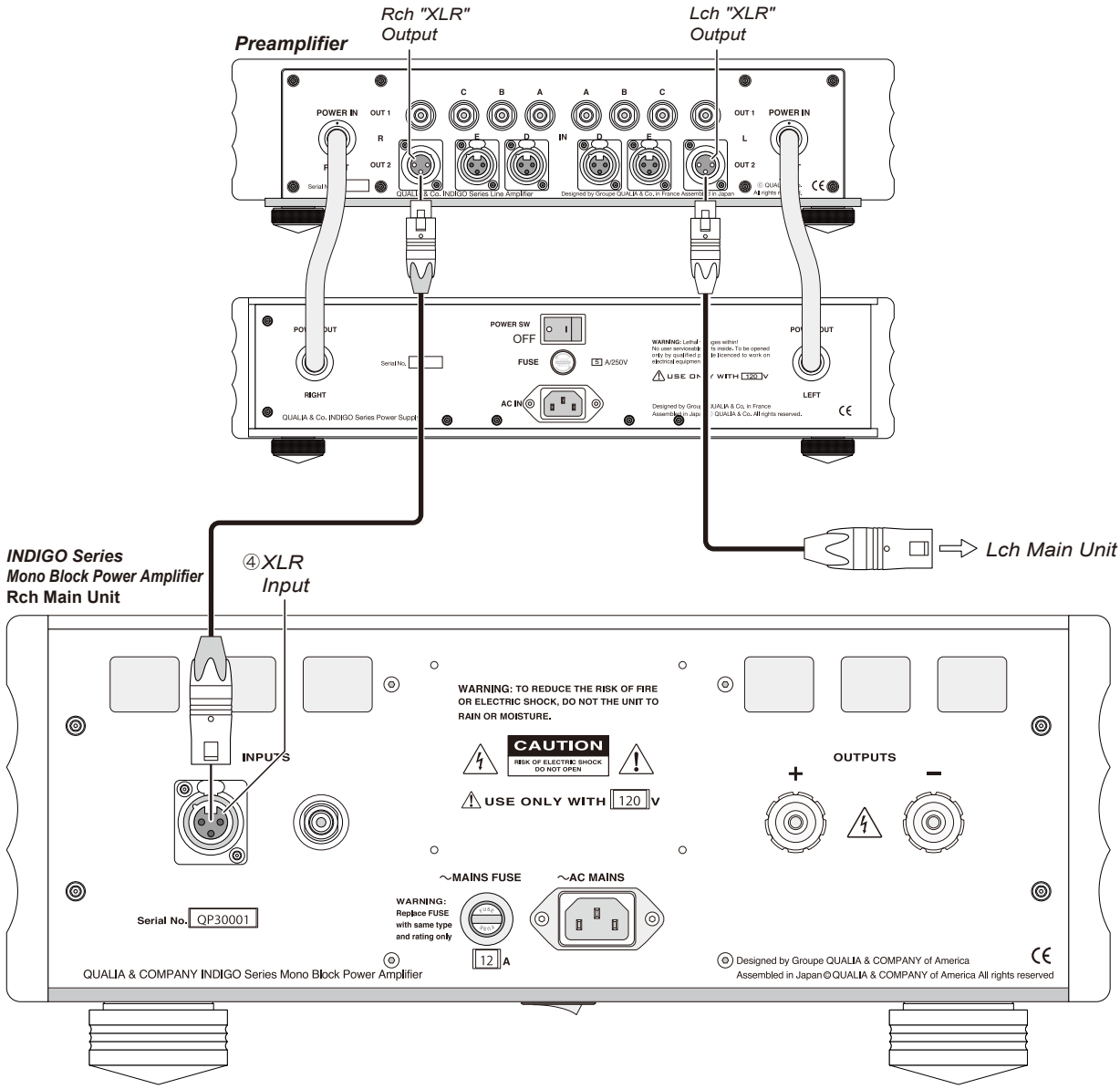
プリアンプの XLR バランス出力端子と INDIGO Mono Block Power Amplifier の XLR バランス入力端子の接続における極性



プリアンプの極性が 2 番ホットの場合
※市販のバランスケーブルがそのままで使用出来ます。



プリアンプの極性が 3 番ホットの場合
※バランスケーブルの加工が必要です。



●接続方法（スピーカー出力）

⚠ CAUTION

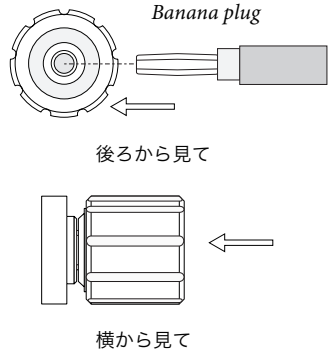
●ケーブルを接続する際には、電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
電源を入れたまま行いますと、本体および接続する機器を破損するばかりか、感電の原因となることがあります。

●絶対にスピーカー出力端子をショートしないで下さい。
出力端子をショートしますと内部回路が破損します。

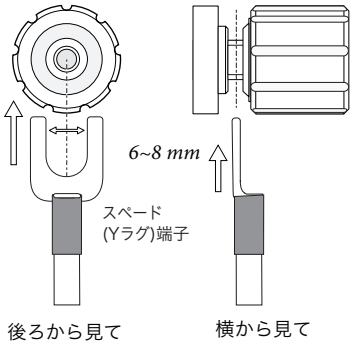
スピーカー出力端子 (OUTPUTS)

バナナプラグ、スペード、裸線に対応したロジュームメッキのカスタムスピーカー出力端子（Binding Posts）で、１系統を装備しています。お手持ちのスピーカーの入力端子とスピーカーケーブルで接続します。

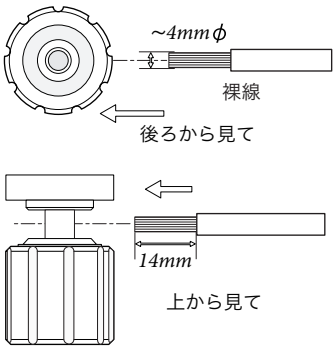
a.) バナナプラグ＝
通常の４mmのバナナプラグに対応しています。ターミナルが緩んでいないか確認して後面の装着孔に差し込んでください。

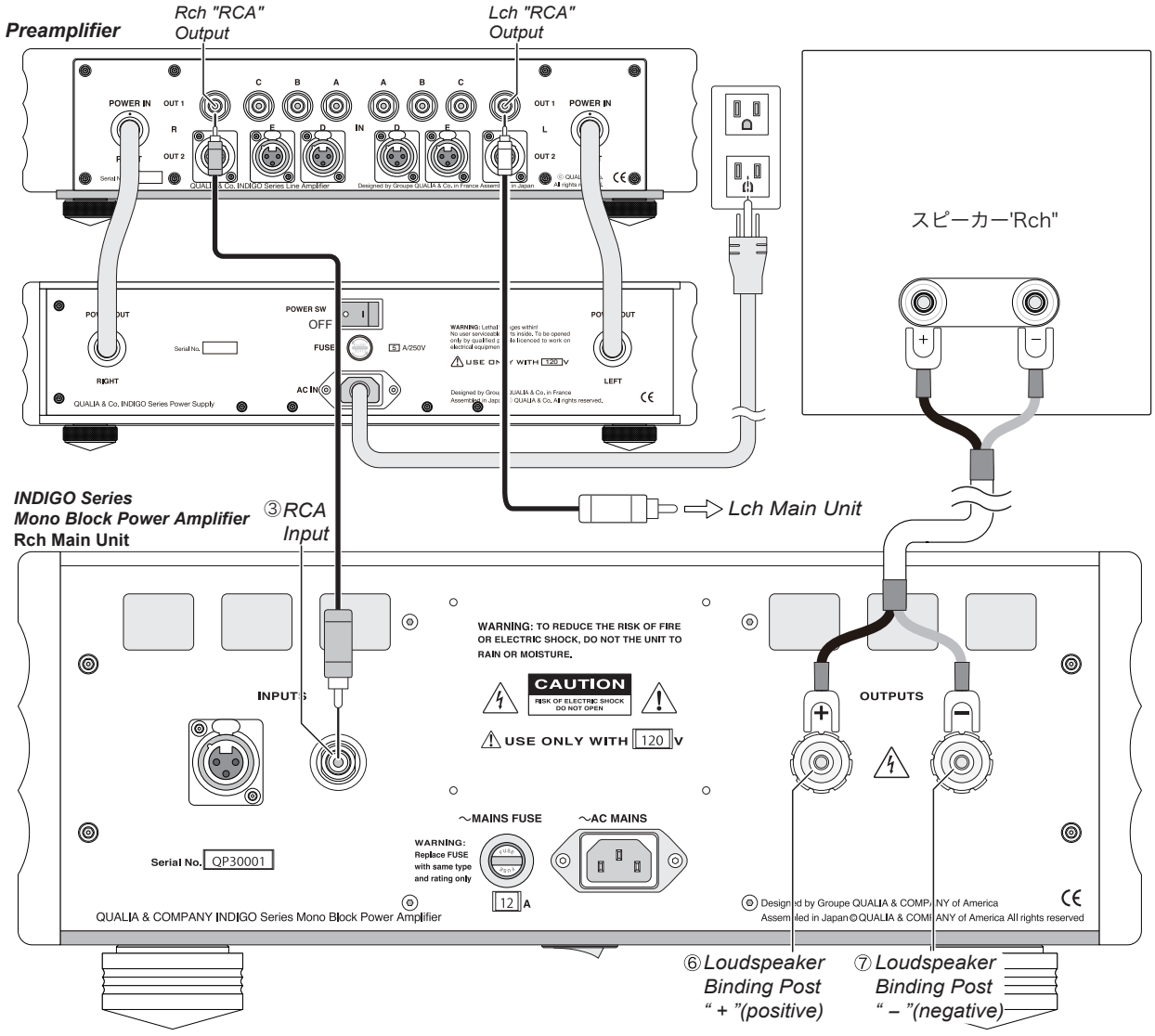


b.) スペード＝
６～８mmのスペードに対応しています。ターミナルを緩めて下または横から装着してください。 緩まないようにしっかりと締め付けてください。



c.) 裸線＝
4mmφまでの線径に対応しています。ターミナルを緩めて横から装着孔に差し込んでください。緩まないようにしっかり締め付けてください。





●電源コードの接続

⚠WARNING

●電源コードを接続する前に、入出力端子にケーブルが確実に接続されているか、電源スイッチがオフの状態であることをもう一度確認してください。

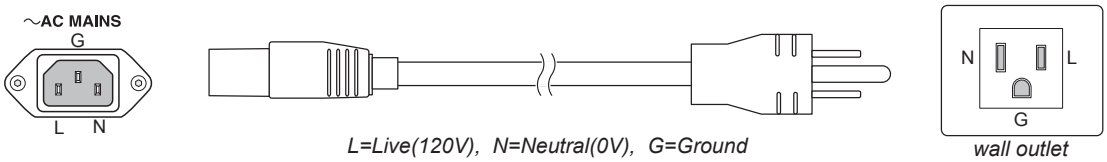
●電源コードの上に重いものを乗せたり、本機の下敷きにならないようにして下さい。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

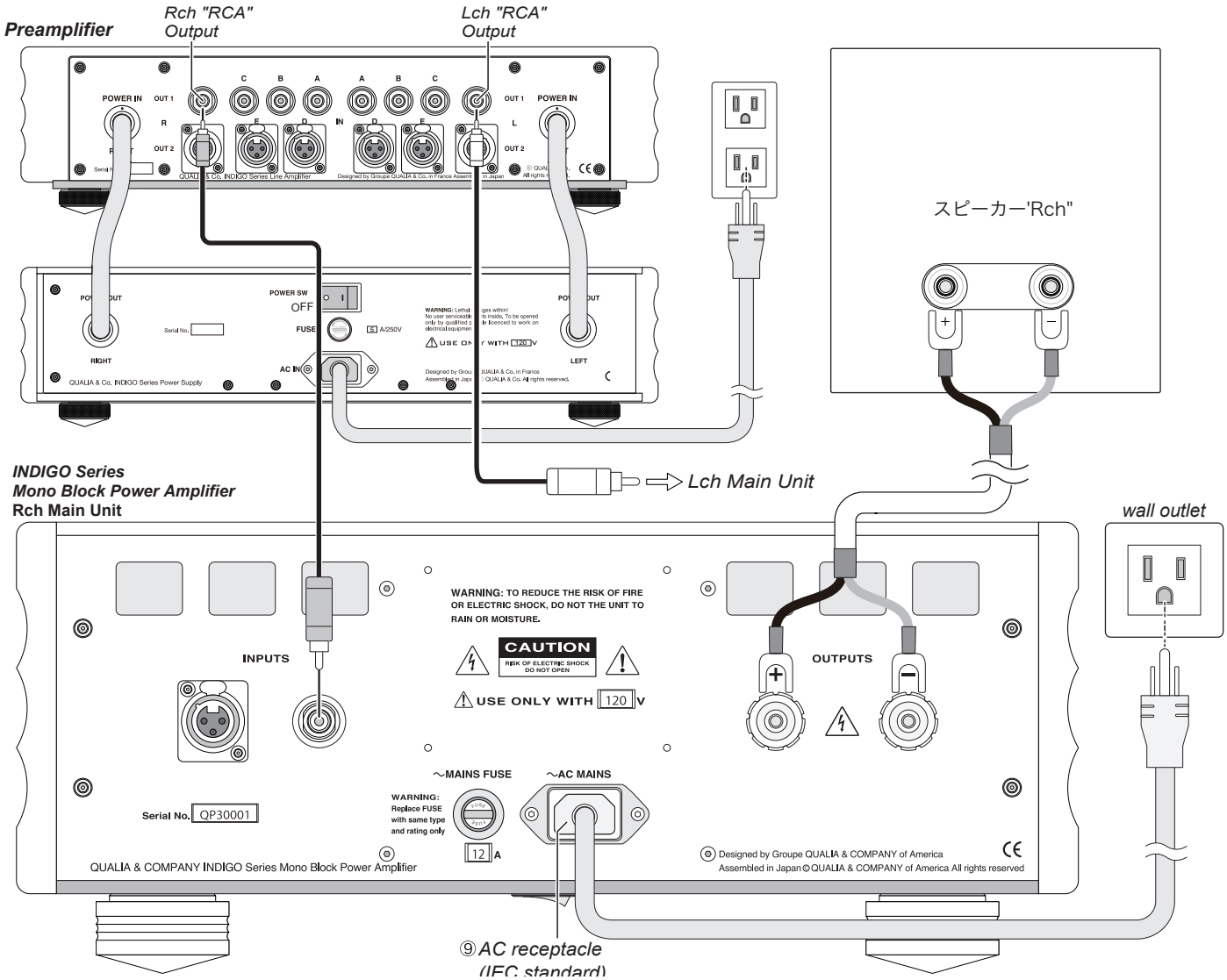
●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。
本機を破損するばかりか、火災・感電の原因となります。

AC 電源入力インレット (AC MAINS)

本体の AC 電源入力インレットは 3P インレットタイプです。まず初めに、電源スイッチがオフになっていることを確認してから、AC 電源コード (AC Power Cord) を電源部の AC 電源入力インレットに装着します。

その後、壁コンセントに、電源コードのプラグを接続します。
壁コンセントが 3P タイプは、極性が決まりますので、そのまましっかりと接続します。





● 操作方法

⚠ CAUTION

●電源を入れる前に、ケーブルの接続が確実に行われているかどうか、もう一度確認して下さい。

●電源を入れる前に、プリアンプ のボリュームが最小に絞りきられているか、必ず確認して下さい。
ボリュームが　上がった状態で、本機の電源を入れると、スピーカーの破損の原因となります。

○電源を入れる順番

(1) プリアンプの電源を入れる

プリアンプのボリュームが最小に絞りきられていいるか確認をして、プリアンプの電源スイッチを ON にします

プリアンプのボリュームを絞り、電源を入れる ⇨ CD、等のソース機器の電源を入れる ⇨ Mono Block Power Amplifier の電源を 1 台づつ入れる

(2) CD やフォノイコライザーなどのソース機器の電源を入れる

(3) INDIGO Mono Block Power Amplifier の 電源を入れる

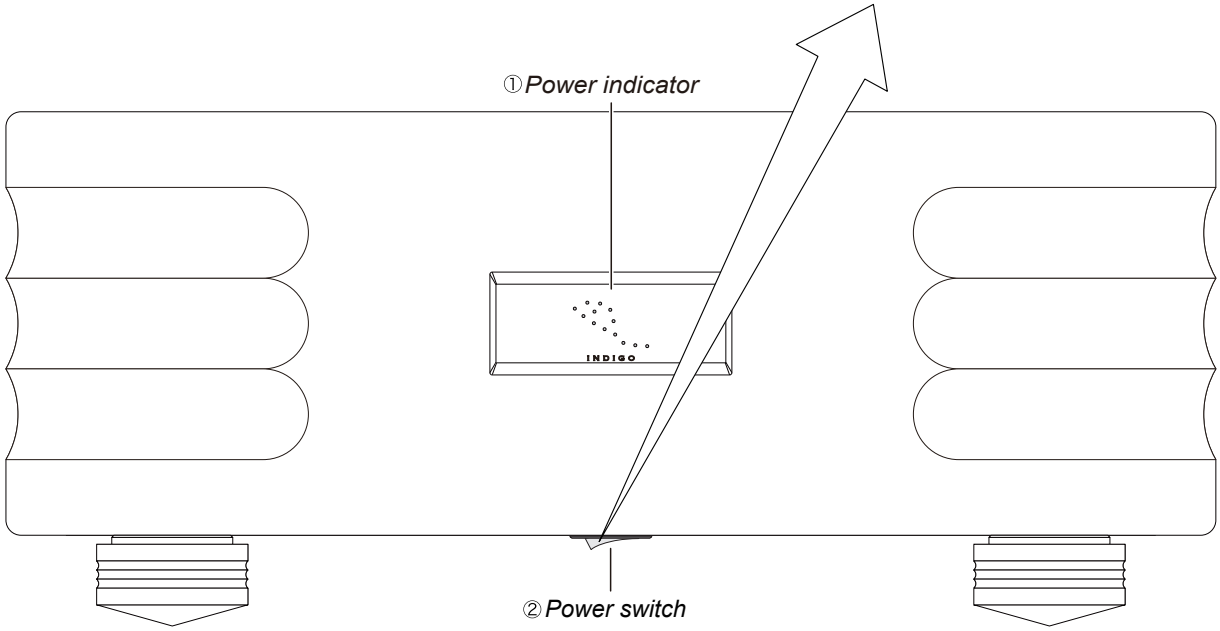
本体ボトムプレートにある②、電源スイッチフロント側から見て左側に倒して、ON にします。

※電源を入れるときは 2 台同時ではなく、1 台ずつ入れ、その間隔は必ず 10 秒ほどあけてから 2 台目を入れるようにしてください。

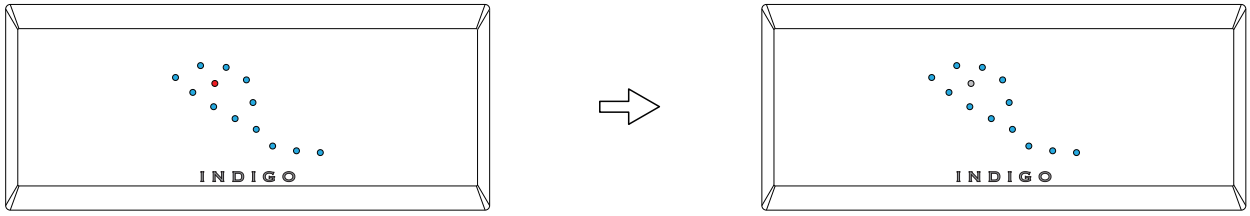
メイン電源スイッチ（前面から見て）

OFFの状態　　ONの状態

※ボトムプレートから見て



○電源が入りますと、フロントパネルにあるインジケーターが点灯します



※電源スイッチを入れて 5 秒ほどは、プロテクションが働いて、 インジケーターの中 1 ヶ所が赤く点灯します

※稼働状態になると、インジケーターの中の赤色に点灯していた所が消灯します

(4) プリアンプで、入力ソースを選択、再生機器を演奏状態にして、プリアンプのボリュームを徐々に上げて希望の音量にします

(5) 電源を切る

電源を切る場合は次の手順で行います。

プリアンプのボリュームを最小に絞り、本機 Mono Block Power Amplifier の電源を 1 台づつ、切ります。

次にソース機器の電源を切ります。

必要であれば、その後プリアンプのの電源を切ります。

○電源を切る手順

プリアンプの ボリュームを絞る ⇨ Mono Block Power Amplifier の 電源を 1 台づつ切る ⇨ ソース機器の 電源を切る ⇨ プリアンプの 電源を切る

⚠ CAUTION

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを壁コンセントから抜いて下さい。

火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。

⚠ WARNING

台風の接近、大雨・雷の発生などで、停電や落雷の恐れがあるときは、必ず電源プラグを壁コンセントから抜いて下さい。

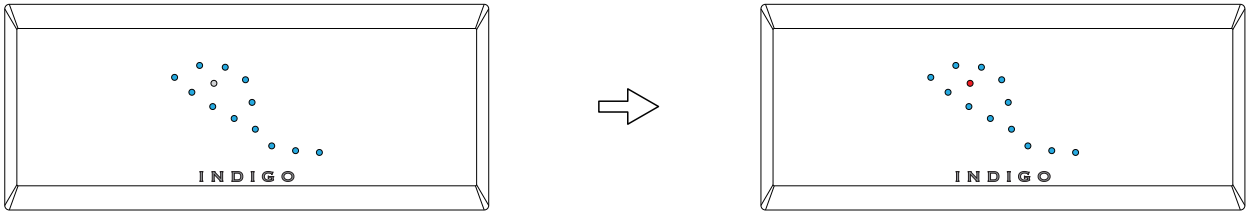
突然の停電や落雷によって本体や他の接続機器にダメージを与えるだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。

●本機のインジケーターの一部が赤く点灯した場合

システムの DC を検出した場合、インジケーターの中心の消灯している LED が赤く点灯しプロテクションが働き出力が OFF されます。

インジケーターの中心の消灯している LED が赤く点灯した場合、DC を検出してプロテクションが働いた可能性がありますので本機の電源を切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、すぐ使用をやめて下さい。

システムのどの機器に原因があるか、どういう状況で起こったのかという詳細も含めて、販売店または弊社サービス部に連絡して下さい。



●ヒューズの交換

⚠ WARNING

※ヒューズ交換は弊社サービス部から指示があったときのみ行ってください。
指示なしで勝手に交換して本体が故障したり、交換する際に人体に影響が出ても弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

※ヒューズ交換を行うときは必ず電源コードを、本体または壁コンセントから抜いて行ってください。
電源コードを、本体または壁コンセントに入れたまま行いますと、感電しますので絶対にお止めください。
交換する際に人体に影響が出ても弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

ヒューズホルダーのヒューズが切れた場合

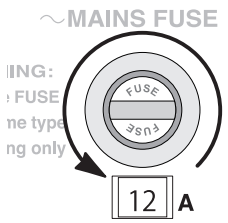
プリアンプののボリュームを絞り、本機の電源スイッチを切った後、電源コードを本体または壁コンセントから抜きます。

まず初めに弊社サービスまたは販売店に連絡をしてください。その際に、どういう状況でヒューズが切れたかをお伝えください。

※通常ヒューズは、電源の変動では切れないよう考えられておりますが、予測をはるかに越えた変動やノイズの混入、道路沿いに面した環境下での違法無線の大出力妨害電波などにより、本体に不具合が発生していなくてもヒューズが切れる場合がございます。

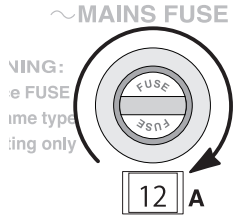
※弊社サービス部より交換の指示が出た場合に限り、スピーカーケーブルを外した後、右記のように行います。

ヒューズ交換が終わりましたら、電源コードを装着します。
電源スイッチを入れます。
新しいヒューズに交換しても、切れる場合は、本体の故障の可能性が有ります。販売店または弊社までご相談下さい。
ヒューズは "6.35mm φ× 31.8mmL　250V 12 A " セミタイムラグ・タイプです。



反時計回りに回す

マイナスドライバーでヒューズホルダーのフタを押しながら反時計回りに回してください。
切れたヒューズを取り替えてください。
ヒューズは 6.35mm φ× 31.8mmL 250V 12A セミタイムラグ・タイプです。



時計回りに回す

ヒューズを取り替えた後、上ブタをマイナスドライバーで押しながら時計回りに回して、確実にロックします。

●本機の異常が発生した場合

本体の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないで下さい。また、改造しないで下さい。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店または弊社サービス部にご依頼下さい。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の時は、使用をすぐやめて下さい。
すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、内部に水や異物が入った場合、また本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐ使用をやめて下さい。すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

インジケーターが消え、動作が停止した場合、内部に何らかのトラブルが発生しヒューズが切れた可能性があります。すぐ使用をやめて下さい。
すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。

●お手入れについて

お手入れの際や、移動させる場合は、本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグを壁コンセントから抜き、
外部の接続コードを外してから行って下さい。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いて下さい。
汚れがひどい場合は、水で濡らし堅く絞った柔らかい布で丁寧に汚れを落として下さい。
くれぐれも酸性の洗剤や、ベンジン、シンナーなどの溶剤はキャビネットを傷めますので絶対に使用しないで下さい。

Specifications

Input Connectors	：unbalanced connector(RCA) × 1
	：Balanced connector(XLR with pin number 2 as HOT) × 1
Output Connector	：loudspeaker output binding posts with banana-plug sockets × 1
Rated Output Power	：150 W（8ohms, 40W まで A 級動作）
	：300 W（4ohms, 20W まで A 級動作）
	：Max. 600 W（2ohms, 10W まで A 級動作）
Voltage Gain	：20dB
Input Sensitivity	：3 V for maximum rated output power
Input Impedance	：10k ohms
Power Requirements	：AC 100V (50Hz / 60Hz)
Power consumption	：120 W (at idle), (Max. 1200W)
Dimensions	：400(W) × 170(H) × 542(D)mm（571mm 端子を含む）
Weight	：50kg

※表記はすべて 1 台当りです。

All specifications are subject to change without notice.

Designed by Groupe QUALIA & COMPANY of America

Assembled in Japan　QUALIA & COMPANY of America All rights reserved